

ボルト締めミス防止

三洋機工が画像処理システム

低価格、分解能 1 mm

三洋機工（愛知県北名古屋市、堀場正武社長、0568・21・1111）は、9月にボルトの2度締めや締め付け忘れなどを防止する「ボルト締め作業のミス防止システム」を発売する。カメラでボルト締めをする工具の位置を検知し、画像

を処理することで締め付け忘れなどを判別する。基本ユニットはカメラ、コントローラーで構成。価格は60万円で従来品の4分の1に抑えた。年100%の受注を目指す。位置検知の分解能は、従来品が1 μ m—5 μ mに対し、新製品は最大1 μ mに向上した。1回ボルトを締めると、コントローラーの画面上に表示されたボルトが緑色に変わる。締め付けを忘れた場合は色が変わらず、2度締めの場合は赤くなるためミスを判別できる。画像処理に必要なボードを自社開発のソフトウェアに置き換えたほか、市販の防犯用カメラを採用して価格を抑えた。製造工程で高精度の作業管理が要求される自動車や航空機などの分野での受注を見込む。